

2009. 11. 27 第56号



地域づくりコミュニケーション  
— 農村振興メールマガジン —

農林水産省農村振興局



◆◆ 目次 ◆◆

【 農村振興支援情報 】

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇とちぎのふるさと田園風景百選の募集（H22年8月31日まで）  
～栃木県「とちぎのふるさと田園風景百選実行委員会」～

◇スリランカと海士町の地域資源を融合した取組  
～島根県海士町「島のハーブ地域協議会」～

■ 報告・お知らせ

◇農林水産省メールマガジンをリニューアルしました！

◇「農林漁家民宿おかあさん100選地方ミーティング」 in 香川を開催  
（10/27）

◇都市部からの風が農村の未来を創造する！  
「ニッポンのムラカ（チカラ）向上プロジェクト」始動イベントを開催  
（11/13）

◇「中山間地域フォーラム緊急シンポジウム」を開催（11/14）

◇第6回 INWEPF（国際水田・水環境ネットワーク）シンポジウム、運営会議及び現地視察を開催（11/16～18）

◇「オーライ！ニッポン」和歌山シンポジウムを開催（11/18）

◇産学官連携セミナーのご案内（12/1、10）

\*\*\*\*\*

■ 地域の実態に応じた多様な取組

◇とちぎのふるさと田園風景百選の募集（平成22年8月31日まで）  
～栃木県「とちぎのふるさと田園風景百選実行委員会」～

栃木県の誇れる“ふるさと田園風景”を百年後にも継承するとともに、百選を契機とした「美しく活力に満ちたふるさととちぎづくり」を進めていくため、多くの県民の理解と参加を得ながら官民一体となって『とちぎのふるさと田園風景百選』を展開しています。

現在、田園風景の募集（平成22年8月31日迄）を行っています。

また、田園風景に対する県民の誇りと愛着を醸成する観点から、「お薦め風景情報」の募集を行っているほか、12月からは「応募風景に対する人気投票」を開始する予定です。

なお、栃木県外在住の方からの投票も受け付けております。

百選の詳細については、次のホームページをご覧ください。

<http://www.shimotsuke.co.jp/select/denen/>

（栃木県）

\*\*\*\*\*

◇スリランカと海士町の地域資源を融合した取組  
～島根県海士町「島のハーブ地域協議会」～

島のハーブ地域協議会は、島根県の隠岐諸島の島前三島のひとつ中ノ島に位置し、海士町観光協会を中心に8団体で構成された地域協議会です。会長は2006年9月から商品開発研修生としてスリランカから海士町にやってきたサミーラ グナワラデナ氏。海士町で偶然に、スリランカの代表的なハーブである「ゴトゥコラ（ツボクサ）」に出合い、農山漁村地域力発掘支援モデル事業を活用し、ハーブを使った商品開発に取り組んでいます。

当地域協議会では、島で生産される「ふくぎ茶」とブレンドしたハーブティーの開発・販売や「アーユルヴェーダ（注）」の体験メニュー開発などを中心にスリランカと海士町の地域資源を融合した取組を行っています。

ふくぎ茶については、次のホームページをご覧ください。

[http://amalife.net/fukugi\\_tea/](http://amalife.net/fukugi_tea/)

海士町の情報発信サイトは下記をご覧ください。

BLOG : [http://www.ama-sns.net/amana/sameera/2009/06/post\\_3.php](http://www.ama-sns.net/amana/sameera/2009/06/post_3.php)

WEB : <http://oki-ama.org/top.html>

(注) アーユルヴェーダについては、次のホームページをご覧ください。

<http://www.begin.or.jp/ytokoji/ayurveda/uebaba/uebabaayu.htm>

(中国四国農政局農村計画部農村振興課)

\*\*\*\*\*

■ 報告・お知らせ

◇農林水産省メールマガジンをリニューアルしました！

農林水産省メールマガジンは、食料の安定供給の確保、農林水産業の発展、農山漁村等の振興等に関する施策情報等について、原則、毎週金曜日に配信しているところですが、11月6日号からリニューアルしました。

新コーナーでは、赤松農林水産大臣をはじめ、副大臣、大臣政務官からのメッセージを毎週順番に配信していきます。

農林水産省メールマガジンにご登録されていない方は、どうぞこの機会に追加登録（配信変更）をお願いいたします。

追加登録（配信変更）につきましては、以下のホームページをご覧ください。  
<http://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/chg.html>

(大臣官房情報評価課)

\*\*\*\*\*

◇「農林漁家民宿おかあさん100選地方ミーティング」 in 香川を開催  
(10/27)

農林水産省と観光庁では、平成19年度より「農林漁家民宿おかあさん100選」事業を実施しております。

本事業の一環として開催した「農林漁家民宿おかあさん100選地方ミーティング」 in 香川では、農林漁家民宿おかあさん100選認定者の地域での活動を紹介し、「食」、「もてなし」、「地域活性化」をテーマに、専門家からの助言を交えながらパネルディスカッションを行いました。

香川県高松市で開催された本地方ミーティングには、中国四国地方から約40名の農林漁家民宿経営者等の方々に出席いただきました。

本地方ミーティングの詳細は「農林漁家民宿おかあさん100選」のページ  
をご覧ください。

<http://blog.ohrai.jp/okasan100/>

(都市農村交流課グリーン・ツーリズム班)

\*\*\*\*\*

◇都市部からの風が農村の未来を創造する！

「ニッポンのムラカ（チカラ）向上プロジェクト」始動イベントを開催

(11/13)

11月13日、東京都文京区の椿山荘において、都市と農村をつなぐ様々な活動を支援している“コーディネーター”が一同に集い、「ニッポンのムラカ向上プロジェクト」を始動させました。主催は、実行委員会（民間主導のコーディネーター9団体で結成。後援は農林水産省と総務省）。会場には約350名が参加し「ムラカツ セッション 2009」が盛会に行われました。

冒頭のパネルディスカッションでは、「田舎で働き隊！」事業で実際に活動している研修生やコーディネーターのほか、本事業を担当している農林水産省農村振興局仲家都市農村交流課長が参加し、農山漁村の現状と活性化について活発な意見交換を行い、その後の分科会：「車座談義」では、実行委員会のメンバーである各コーディネート団体から、団体が日々実践している「ムラカツ」についての話が行われ、参加者は農山漁村での現場の情報を得ることができました。

最後に「ニッポンのムラカ向上プロジェクト」として、マチとムラとを繋げ、コーディネートという仕事を社会に伝え発信し、新たな人材へと繋げることが宣言され、本イベントを通じ、参加者にムラカを向上させる旗手となるコーディネーターの存在意義を認識して頂くことが出来ました。

なお、本イベント始動後は各地で「サテライトイベント」として2010年3月下旬まで実施中です。詳細は、次のホームページをご覧ください。

<http://www.mura-chikara.jp/>

(都市農村交流課活性化企画班)

\*\*\*\*\*

◇「中山間地域フォーラム緊急シンポジウム」を開催(11/14)

11月14日（土）、明治大学リバティータワーにおいて中山間地域フォーラムが主催する『緊急シンポジウム「新政権に問う！どうする農山村政策」』が開催され、農林水産省から郡司彰農林水産副大臣が参加しました。

シンポジウムでは、「新政権への期待と問題提起」として、岐阜県白川町長今井良博氏、NPOひろしまね代表安藤周治氏、きらり水源村事務局長小林和彦氏から報告があり、続いて郡司副大臣が「新政権の農山村政策」について講演を行いました。

その後、郡司副大臣も交え、講演者によるパネルディスカッションが行われ、会場の参加者からの質問等も交えながら議論が行われました。

詳細については、次のホームページをご覧ください。

<http://www.chusankan-f.net/symposium091114.html>

（中山間地域振興課調査調整班）

\*\*\*\*\*

◇第6回 INWEPF（国際水田・水環境ネットワーク）シンポジウム、運営会議及び現地視察を開催（11/16～18）

INWEPF日本国内委員会は11月16～18日にJICA研究所等において、「水田の多面的機能の価値と評価」と「水田かんがい技術普及のための支援手法（参加型水管理の普及手法等）」をテーマに、INWEPF第6回シンポジウム、運営会議及び現地視察を開催しました。同会議等は国内外の関係者が多数参加し、成功裏に終了しました。

シンポジウムでは130名超の参加者があり、講演者は発表のあと参加者との活発な意見交換を行いました。運営会議では、2011年度開催予定である第6回世界水フォーラムに向けて、INWEPFの活動目標を「持続可能な水田農業の促進」と定め、ケーススタディーの実施や事例の収集等、具体的な行動計画を決定しました。INWEPFメンバー国からの参加者による現地視察においては、両総土地改良区、大山千枚田保存会の皆さんとの意見交換会を実施しました。

本取組の詳細結果については12月初旬に下記ホームページにアップ予定です。

[http://www.maff.go.jp/inwepf/jp/index\\_jp.htm](http://www.maff.go.jp/inwepf/jp/index_jp.htm)

（設計課海外土地改良技術室）

\*\*\*\*\*

◇「オーライ！ニッポン」和歌山シンポジウムを開催（11/18）

11月18日に和歌山市内のダイワロイネットホテル和歌山においてオーライ！ニッポン和歌山シンポジウムを開催しました。

当日は、会場がほぼ満員となる大盛況の中、オーライ！ニッポン会議の養老孟司代表からの挨拶をはじめ、第1部では、グリーン・ツーリズムの普及啓発を目的とした「ようこそ！農村キャンペーン」の一環として「グリーン・ツーリズム商品コンテスト」の表彰を行いました。

第2部は、「平成の参勤交代ー子どもの農山漁村体験の意義」と題して養老代表より基調講演が行われました。講演の内容は、「自然は長い年月を経て様々な環境に適応した答えであり、その自然で学ぶことの重要性」について考えさせられる貴重なものでした。

続いて第3部は、子ども農山漁村交流プロジェクトにおける事例発表とパネルディスカッションが行われ、出席者から「素晴らしい取組なので是非、事業を拡大して継続してほしい」旨の要望があるなど、このプロジェクトの実態や効果について理解していただけたと考えています。

最後に、今回のシンポジウムの開催に際し、大変お世話になった地元和歌山県の仁坂知事をはじめ、関係者の皆様方に心から感謝申し上げます。

（都市農村交流課グリーン・ツーリズム班）

\*\*\*\*\*

◇産学官連携セミナーのご案内（12/1、10）

本事業では、企業と農村地域の地方自治体等とを結ぶことにより農村地域への工業等導入を促進させることを目的に産学官連携セミナーを順次開催します。

次回は、12月1日（火）に福岡、12月10日（木）に岡山において開催されます。

詳しくは、次のホームページをご覧ください。

<http://ritti.jp/>（「セミナー・フォーラム情報」をクリック）

（都市農村交流課定住促進班）

\*\*\*\*\*

◆◇ 編集後記 ◇◆

新型インフルエンザが流行し始めた頃、マスクが店頭から消えたというニュースを耳にしましたが、現在でもマスクが不足しているお店があるようです。

そんな中、マスクの手作りに取り組んでいるという方もいらっしゃるようです。作り方は、インターネットで調べてみると載っていますので、お洒落なマスクをお探しの方は、自身で作成してみてもはいかがでしょうか。(M)

\*\*\*\*\*

◆◇ ご意見をお寄せ下さい ◇◆

本メールマガジンに対する皆さまの声を ご遠慮なくお寄せください。また、皆さまの地域での活動や取組の紹介などもお願いします。皆さまからのご質問・ご意見、地域の活動などの情報につきましては、可能なかぎり回答あるいは紹介させていただきます。

本メールマガジンに関するご質問・お問い合わせについては、次のサイトから送信をお願いします。

<https://www.contact.maff.go.jp/maff/form/b6c2.html>

農村振興メールマガジンのバックナンバーは次のサイトでご覧いただけます。

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/nousei/e-mag/index.html>

\*\*\*\*\*

■ 編集発行

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

農林水産省農村振興局農村政策部農村計画課(担当)増田

TEL: 03-3502-6001 FAX: 03-3501-9580

\*\*\*\*\*